日本語教育実習報告会
後期　中級グループ

4年A組　1207109　池田花恵
4年B組　1207204　藤根友里
4年B組　1207205　藤田知里

（1）担当クラスの概要

- 担当クラス　　中級1Ａ

- 学生の人数　　２２名

- 学生の国籍　　中国　　１７人
　　ベトナム　　３人
　　ネパール　　２人

- 教科書名

＜漢字＞日本語能力試験に出る漢字2級
＜文字語彙＞徹底分析日本語能力試験文字語彙2級
＜文法＞完全マスター2級　日本語能力試験文法対策問題集

- 見学期間　10月26日（火）～29日（金）、11月9日（火）

- 実施期間　11月2日（火）～9日（火）

（2）授業見学について

① 見学したクラス

・中級1A（2級漢字、2級文字・語彙、2級文法）
・中級1B（2級文字・語彙）
・中級2A（1級漢字、2級文字・語彙）
・上級会話（新聞記事についてディスカッション）
・中級1A・1B混合クラス（面接対策、会話）

※見学だけの時もあれば、授業に参加させていただくこともあった。

（2）授業見学について

② 学生の様子で気が付いたこと（中級1A）

・全体的に、授業中は私語が少なく、まじめに授業を受けている。

・一部の学生は積極的に発言していた。

・一方、少し口の重い学生もいて、授業中一度も自分から口を開かずに帰る学生もいた。

（2）授業見学について

③ 見学で気が付いたこと

- 担当範囲のみならず、今までに習った2級文法や語彙の説明を織り交ぜて授業をしていた。

- 授業中、先生と学生との会話が多かった。

⇒先生方は、一人の学生から出た質問を、クラス全体で共有していた。こうすることにより、授業が単調になってしまうことを、防いでいる。

（2）授業見学について

- その授業で学ぶ項目だけでなく、それに関連した大切なことも、一緒に確認していた。

  ⇒自動詞・他動詞、対義語、助詞など…

- 学生の伝えたい情報は逃さずキャッチし、答えていた。

- 学生に当てるときは、順番を考えて当てていた。

  ⇒最初や難しい問題は、できる学生から当てる。

（2）授業見学について

- 先生方の語彙力が膨大である。
  ⇒微妙なニュアンスの違いにも、はっきりとした
  区別を見出し、的確に説明していた。

- どの先生方も、楽しそうに授業をしていて、とてもいきいきしていた。

漢字の授業について

テキスト:『徹底分析　能力試験に出る漢字2級』
11月2日　担当:藤田知里
（図・組・多・打・知・値・遅・置・池・恥）

11月4日　担当:池田花恵
（都・渡・塗・土・努・怒・波・破・馬）

11月9日　担当:藤根友里
（負・富・浮・夫・父・舞・歩・捕・補・母・暮・磨・味）

11月2日　担当:藤田知里
（図･組･多･打･知･値･遅･置･池･恥）

･良かった点

◎教具を工夫し、イメージしやすい説明をした

◎言葉の意味を説明をする前に、学生たちに質問した

･改善点

△経験した事のない言葉の説明が難しかった

△オウム返しが出来ていなかった

△時間配分(流すところは流す)